

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	平成30年度第3回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	平成31年3月28日 午後1時30分～午後3時	場 所	木津川市役所 5階全員協議会室
出 席 者	委 員	別紙のとおり	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 2人
	庶 務	こども宝課	■公開 □非公開
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 木津川市子育て支援に関するアンケート調査（第2期木津川市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査）について （こども宝課児童育成係）</p> <p>(2) 子育て施策の状況について</p> <p>① 放課後児童健全育成事業の見込量の変更について （こども宝課児童育成係）</p> <p>② 平成31年度保育所等利用申込み状況について （こども宝課保育係）</p> <p>③ 公立保育所民営化等の状況について （こども宝課保育係）</p> <p>④ 地域子育て支援拠点事業（つどいのひろば）について （こども宝課児童育成係）</p> <p>4. 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1 開会 司会進行により開会。説明の前に事務局より会議資料の確認と会議成立要件定足数の報告。</p> <p>2 会長あいさつ 安藤会長より、本日の会議録の署名委員について、会長のほか</p>		

	<p>阪本委員を会長から指名された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 木津川市子育て支援に関するアンケート調査（第2期木津川市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査）について、こども宝課児童育成係より説明。</p> <p>(2) 子育て施策の状況について、① 放課後児童健全育成事業の見込量の変更について、こども宝課児童育成係より説明し、次に、② 平成31年度保育所等利用申込み状況と、③ 公立保育所民営化等の状況について、こども宝課保育係より説明。④ 地域子育て支援拠点事業（つどいのひろば）についてをこども宝課児童育成係より説明。</p> <p>4 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1 開会 事務局より、司会進行・開会</p> <p>2 会長あいさつ 本日の議題については2件、審議、意見の程よろしくお願ひしたい。署名委員は阪本委員を指名させていただく。</p> <p>3 議事 主な意見・質疑等は次のとおり。 (○：質疑・意見、⇒：質疑に対する返答)</p> <p>(1) 木津川市子育て支援に関するアンケート調査（第2期木津川市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査）について 【説明】 資料1-1に基づいて説明。 第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、そのニーズを把握するため、アンケート調査票を未就学児・小学生を対象にそれぞれ2千件無作為抽出を行い、2月7日（木）対象者宛に郵便にて送付。約3週間の期間を設け、2月末日を提出期日とした。回収数は未就学児932件、回収率は46.6%。 小学生は配布数2千件に対し、回収数930件、回収率46.5%であった。 前回5年前の第1期計画に基づくアンケート調査は未就学児については2,900件に対し、回収数は1,639件、回収率として</p>

は56.5%であった。

配布方法等については今回対象者には郵便での送付としたが、前回は保育所・幼稚園の在園児に対し園を通じて配布。また子育て支援センター・つどいのひろばの利用者に対し個別配布という方法で配布した。

また、5年前の小学生については、配布数1,400件に対し、回収数1,012件、回収率72.3%、配布方法等については、2年生及び5年生を対象に学校を通じて配布を行った。

アンケートの分析結果については現在、委託業者である(株)ぎょうせいにおいて、アンケート内容の入力作業を終え、分析作業を行っていただいているところである。結果については4月下旬を目途に集計結果がでる見込みとなっている。

資料の2枚目以降については、(株)ぎょうせいより説明。

【質問・意見】

○なし

(2) 子育て施策の状況について

① 放課後児童健全育成事業の見込量の変更について

【説明】

放課後児童健全育成事業の見込量について、平成28年11月に木津川台地域及び城山台の見込量を変更しているが、今回は城山台地域について変更を考えている。

城山台地域は、平成26年4月から民間児童クラブで児童の受入を開始し、平成28年4月からは公立児童クラブも開設した。また、平成30年4月からは3クラス体制としたが、予想を上回る児童数の増加に対応するため、平成31年度は小学校の教室を2教室借用し、5クラス体制とする。ただし、教室借用は1年間限定となるため、平成32年度には小学校敷地内に4教室程度の増設を予定しており、現在業者選定の準備を進めている状況である。

先ほど説明があったニーズ調査に基づき、第2期子ども・子育て支援事業計画の準備を行っているところであるが、第1期計画の最終年度となる平成31年度の見込量について、急増する児童の状況を反映し、変更を行うもの。

【質問・意見】

○待機はないのか。城山台地区に1年生が増えているが。

⇒現在、平成30年度の待機はない。昨年10月に平成31年度の一斉受付を行い、現在も随時受付をしているところであるが、平成31年度についても待機児童はないという状態である。

○城山台の1年生の児童が増えてきていると聞いている。転入されてこられる方が増え、昨今児童クラブに入所できる、できないというのは問題になっていたと思うが、まだ定員枠は空きはあるのか、超えているのかその辺りはどうか。

⇒現在3教室を城山台は有している。次年度については更に2教室を小学校の教室を借用するので放課後児童クラブとしては5教室ということになっている。民間児童クラブも合わせると合計261名程度（公立児童クラブ185名程度・こむぎクラブ36名程度）の枠があるのでまだ一定の余裕をもって動き始める形である。

○JR木津駅通路に「支援員募集」という張り紙が貼ってあった。支援員は集まっているのか。

⇒通年、放課後児童クラブ支援員、臨時職員については通年募集を行っている。地方公務員法の絡みもあり、臨時職員については法の解釈により最長1年というのが一旦の区切りとなっている。一定期間空ければ再度任用できるが、一定期間といえども保育に穴を開けるわけにはいかないので常に支援員を募集させていただいているところである。現在、支援員については充足している。平成31年度についても十分な配置ができているところであるが、引き続き求人はしていきたい。

## ② 平成31年度保育所等利用申込み状況について

### 【説明】

1月2月に実施した保育所利用申込みについて、1次受付は566名の申込みに対し455名の決定、2次受付は64名の申込みに対し44名の決定となった。2次申込みの調整後の4月1日現在の待機児童数については、転園待機を除いた0歳から5歳までいずれも国基準待機は出ていない。

続いて、資料3に基づき平成31年度特定教育保育施設並びに特定地域型保育事業の利用定員について説明。

### 【質問・意見】

○保護者からの声で、きょうだい別の保育園に行かれています方があ

ると聞いている。その方たちの数はどれくらいあるのか。またその方たちのご希望は添えることはできないのか。

⇒定員枠としては十分な枠とはなっている。0歳児の枠については十分な枠をとれているところではあるが、1・2歳児については育児休業制度も根付いてきているので、0歳で預けられるよりもお子さんが満1歳あるいは満1歳半になられて職場復帰される方が多い。0歳児枠は十分に余裕があるが、1・2歳児については非常に厳しい状況にある。国でいう待機児童というのは木津川市では発生していないが、きょうだいと同じ園に行けないだとか、そういった私的な理由によりお待ちいただいている方は確かに一定数おられる。ただ、きょうだいで一緒に園に行っていただけない、その数字は今拾いあげていない。そういった保護者からの声はこども宝課に入っている。

○きょうだい別の保育園に行っていることで運動会など行事が重なり保護者が行けなかったりすることが残念なことなので、なるべく枠をもう少し広げていただく形になるよう希望する。

○木津川市に企業主導型保育所があるが、人数は把握されているのか。

⇒企業主導型については梅美台に昨年1園実施されているところはある。定員は17名で、地域枠が半分だったと思うが、保育料の関係も認可保育所であれば第2子半額、第3子無料といった制度があるが、企業主導型には適用が今はないので、なかなか満員にはならないと聞く。きょうだいで同じ園に行けないなど私的な理由による待機はおられるので、そういった案内も積極的にしてはいるが、なかなか入所に結びつかないというような状況である。

### ③公立保育所民営化等の状況について

#### 【説明】

資料4に基づき、公立保育所民営化等実施計画における主な対象園の進捗状況について説明。

相楽台保育園については、兜台保育園との交流事業を10月に実施した。木津川台保育園は移管事業者が決定し、三者協議会を設置して協議会を毎月開催し、合同保育に向けた調整を行っている。

兜台保育園は、議会関係手続き、保護者説明会、地域長説明会等

いずれも実施済みである。現在補助金財産処分承認の手続き中で、3月31日付けで移管手続きを行う。

木津保育園分園、やましろ保育園分園についても、関係機関との調整を図りながら、進めていく。

【質問・意見】

○なし

④ 地域子育て支援拠点事業（つどいのひろば）について

地域子育て支援拠点事業については、安心して子育てができる環境整備ということで、地域における子育ての支援拠点として、市内に支援センターとつどいのひろばを設置しているところである。現在、子どもが増加している城山台地域において、支援拠点の支援センター・つどいのひろば等ニーズが高まっていることもあり、さらに1カ所開設して相互の交流ができるように支援の充実を図るもの。開設場所として、城山台地域において開店するPLANT木津川店のキッズルームを借用し開設する予定である。開設日は4月上旬の予定。委託先事業者は2月22日から3月8日までプロポーザルの募集を行い、3月14日に審査を行っている。2法人の応募があり、その中から、特定非営利活動法人げんきっ子に決定した。子ども・子育て支援事業計画の地域子育て支援拠点事業の事業見込量については、この拠点については現在木津東地域の見込量の中で、木津保育園の中にある木津子育て支援センター、梅美台こども園で実施させていただいている木津東部子育て支援センター、ガーデンモール木津川で実施させていただいている、つどいのひろば、その所を利用いただく方が大変増えてきているということもあり、その部分の見込みが同じようにご利用いただく中で見込量全体についてはこの中で捻出ということで今回見込量の見直しは行っていない。

【質問・意見】

○梅美台こども園は市の委託を受けて子育て支援センターを実施しているところであるが、今年度、コンシェルジュが月に一回定期的に来ていただいているところである。コンシェルジュが来てくれるときは入所関係等いろいろな悩み事を相談され、すごく好評であった。今回コンシェルジュが今年度いっぱい来られなくなると聞いた。その経緯についてお聞きしたい。

⇒コンシェルジュについてはこども宝課に利用者支援事業として配置している。各園、支援センター、つどいのひろばに今年度は出かけ

	<p>て行って、出張コンシェルジュの相談ということで、相談対応していたところである。保育所等困っている中でその後どうされているのか利用者支援事業として、子育ての情報提供を行い、一時預かりやファミリー・サポート事業等につないだり行ってきたが、それで十分満足されたのか、まだ困っておられるのか、そこまで深く対応していなかったところであるので、今後寄り添う支援という形でコンシェルジュがしっかりつないでいこうと考えている。今年度実施していた訪問、定期的な部分について一度見直しを行い、次年度からは定期的な支援センター会議を開催して、木津東部支援センターについて、どういう形で関わらせていただくか、相談のうえ決めていきたい。</p> <p>4 閉会</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>傍聴者 2名</p>
<p>署名欄</p>	<p>木津川市子ども・子育て会議 会長</p> <p style="text-align: center;">安藤 和彦</p> <hr/> <p>木津川市子ども・子育て会議 委員</p> <p style="text-align: center;">阪本 磨祐美</p>

